

姉妹都市の現状を視察

主要産業を視察

シェパートン市では、まちを流れるゴルバーン川が農地の貴重な水供給源となっています。前回訪問した平成19年当時は、深刻な干ばつが続き、農業に大きな打撃を与えていました。現在、深刻な状況は解消されていますが、この経験から住民の水資源への意識が高いことが特徴です。

また、オーストラリアの最低賃金は日本円で1600円以上。人件費が物価に反映されるため、訪問団は物価高にも驚いていました。



工場で作られたチーズを試食

【乳製品工場】
シェパートン市の主要産業の一つである、乳製品工場を視察。地域の酪農家数百世帯から日々生乳が届けられています。ここで製造されるクリームチーズはオーストラリア国内だけでなく、東南アジア方面へも輸出されています。

【果樹園】
地域で3番目の規模だという100畝の果樹園を視察。数種類のリンゴ、モモ、アンズなどを栽培しています。消費者は色や形へのこだわりが強いので、収穫は全て手作業。傷をつけないように注意を払



果樹園の敷地の広大さにも驚かされた

いながらも、迅速な作業が求められます。

生育状況や栽培施設を熱心に見学していた岩手江刺農業協同組合の小川節男常務理事は、リンゴを試食し「江刺りんごがおいしいのはもちろんだけど、こちらのリンゴもおいしいですね」と笑顔を見せていました。

【トマト栽培】
スプリングラーを活用して室内の気温や湿度を一定に保つなど、システム化されたハウス栽培を視察しました。地表面に張り巡らされた水供給システムによって、効率性、生産性の高い環境が整えられていました。

記念植樹したサクラとモミジが大きく成長

【クイーン庭園】
19年の訪問時、市庁舎向かいのクイーン庭園に植樹したサクラとモミジの成長の様子を確認しました。きれいに手



先進の技術が導入されたトマトハウス

入れされていて、シェパートン市民の手で大切に管理されていることが分かりました。

【観光案内所】
シェパートン市では、毎週末何らかのイベントを開催し、常に魅力のあるまちづくりを心掛けているそうです。今回の訪問が三連休の週末ということもあり、池のほとりの公園では、あちらこちらから集まった家族連れがバーベキューを楽しみ賑わっていました。

視察を終えた高橋梯子さんは「何を見ても、何を食べてもとても興味深く非常に楽しい」と身振り手振りを交えながら、全体で喜びを語っていました。

別れの朝

シェパートン市を発つ朝。早朝にも関わらず、フリーハン前市長とディニス・アデム議員が見送りに駆け付けてくれました。朝刊の束を手にした2人は「訪問の様子が大きく掲載されていますよ!」と公式訪問が喜びとともに報じられていることを、うれしそうに教えてくれました。

また、フリーハン前市長から小沢市長へ重要なメッセージが。「現在、シェパートン市のグループナー中学校では学生派遣費用の積み立てを行っており、28年には奥州市への学生派遣を実施できる予定」と告げられました。この話を受けた小沢市長は「非常



植樹当時（左）に比べて大きく育ったサクラ

そのほかの姉妹都市との交流状況



オーストラリア共和国チロル州ロイテ市・ブライテンヴァング市
平成3年、江刺中核工業団地に工場を構えるボックスプレジジョン(現ブランゼージャパン)の仲介で、旧江刺市とロイテ市・ブライテンヴァング市それぞれが姉妹都市提携を結ぶ。

以後、3年ごとの公式訪問団相互受け入れを実施し、7年には青少年交流事業を開始。23年は震災支援により、ロイテ市・ブライテンヴァング市の費用負担による青少年派遣団の両市訪問が実現。26年の公式訪問時の協議の結果、青少年交流事業は人数を増やして隔年の実施になった。



北海道夕張郡長沼町

長沼町開拓の祖である吉川鉄之助氏が旧水沢市出身だったことが縁で、昭和48年に旧水沢市と長沼町が姉妹都市提携を結ぶ。以後、日高火防祭への参加や、お互いの産業まつりへの物産品の出展など、文化、産業交流が盛んに行われ、水沢産業まつりでは長沼町のジンギスカンやジャガイモが人気を博している。



北海道勇払郡厚真町

昭和25年から49年にかけて旧前沢町から厚真町へ10人が嫁いだことが縁で、58年に旧前沢町と厚真町が姉妹都市提携を結ぶ。厚真町の田舎まつりをモデルとして前沢牛まつりが誕生。相互がまつりに参加するなどして交流を継続している。ことしの奥州前沢文化と産業まつりには、厚真町のゆるキャラ「あつまるくん」が登場し、会場を湧かせた。



静岡県掛川市

旧胆沢町と旧大東町(静岡県)が姉妹都市だったことが縁で、平成22年に姉妹都市提携を結ぶ。以後、毎年公式訪問団の交流のほか、産業面での連携や広報紙への相互記事掲載などの交流を継続している。城の町であるとともに茶の産地として有名で、25年には本市と秋田県仙北市、岐阜県多治見市を含めた4市で「茶文化プロジェクト」を立ち上げた。

訪問を終えて――

にうれしいニュースだ。本市の生徒たちはこれまでたくさんお世話になっている。シェパートンの生徒たちが来奥の際は、市を挙げて大歓迎する。その日を楽しみにしている」と答えました。

姉妹都市を実際に訪れ人々と触れ合ったことで、公式訪問の参加者たちからは「皆さんの温かさに感激した。このような交流の場に参加できて非常に光栄」。視察や歓迎会などの公式行事への参加は普通の旅行では決して体験できなかった。参加して本当に良かった」など満足の声が上が



見送りに駆け付けた2人から嬉しいニュースが



市国際交流協会の佐藤剛会長が表紙を飾った